

2013年9月28日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログが新しくなりました
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No.67



9月市議会

決算審査特別委員会

保育園の補助金不正問題で附帯決議

9月定例会市議会では、17日から24日まで、決算審査特別委員会が開かれました。私、清水と高坂市議が決算委員となりました。昨年度の予算がどのように使われたのか、市民の暮らし、福祉に役に立ったのかなど審査し認定に反対。主なものを紹介します。

職員の削減

正規職員数が5年間で171人減、定数外職員が290人増。30日以上休職している職員が100名にも及び精神疾患が47名、職場環境の厳しさも原因の一つです。

教職員も正規職員3分の1、臨時・非常勤職員3分の2、年間200万円以下の官製ワーキングプアを自治体自らが作り出しています。

国民健康保険

国保加入世帯のうち、約40%が滞納世帯。5096世帯が短期保険証。3218世帯に保険証が渡っていないことが明らかになりました。また、127世帯に資格者証が発行され、必要な医療が受けられない事態になっています。

介護保険

「施設から在宅へ」「医療から介護へ」という政策がすすめられているなか、介護給付に5億円の不用額を出し、保険料はどんどん上げながらサービスを求めている市民にサービスが提供されないとということになっています。

地域経済

地域経済の活性化が叫ばれているなかで、23年度に比べて9500万円以上削減しながら、さらに決算では不用額を1850万円出しています。業務委託でも、市内業者より市外業者の委託が多く、市内業者育成がおこなわれていません。

教育関係費

不登校の生徒が増えて

〈附帯決議〉

民生費のうち、私立保育園補助金に關し、2つの私立保育園を運営する社会福祉法人における補助金の過大請求が明らかになりました。これについては集中審査をしましたが、監査中だということでも明らかにならず、決算委員会では珍しい「附帯決議」を全員で採択しました。

います。相談件数は5778件（新規の不登校の相談は150件）。きめ細やかに対応するには相談体制が不十分だといえます。

小中学校の施設修繕について、各学校から出された修繕に十分に配慮していません。小学校で59%、中学校で75%。多額の不用額を出すのではなく、子どもたちに学習できる環境をきちんと整えてあげるべきです。

学校給食の委託も増え、経験年数の浅い職員（パートが67%）が増えるこ

・市を挙げてこの問題解決に取り組むこと。
・監査の結果が判明し次第速やかに議会および市民に公開し、補助金の調査を実施すること。
・過大な支出の事実と金額が確定した場合には、過払金の返還請求等を含め、適切な措置を講ずること。
・市はチエック体制の強化、再発防止策を早急に具体化すること。

とにより事故報告も100件を超えています。安心・安全、教育の一環としての学校給食をの現場の改善をすべきです。

☆ブログをリニューアルしました

「日本共産党市川市議団」で「検索」
「清水みな子」の顔写真をクリック

または「清水みな子のブログ」で「検索」

または <http://jcp-shimizu.sblo.jp>

☆ご意見・ご要望をお寄せください



9月18日、大久保市長の諮問機関「市政戦略会議（会長・栗林隆千葉商科大教授）」は、5月15日に諮問を受けた「使用料・手数料の見直し」の答申を市長に提出しました。

今回の見直しの対象となるのは、市民生活に直結することばかりで。公民館、文化会館、市民会館、勤労福祉センター、地域ふれあい館、市民プール、体育館、運動場、霊園などの使用料です。

「答申」では、民間同種の施設と比べて著しく低額になっており、「民間水準との大幅な乖離」の原因が「現行の使用料単価の算出基準」にあるとして、民間の考え方をベースに「新たな使用料単価の算出基準」を検討し答申したとしています。

市政戦略会議が「答申」 公共施設の使用料見直し 民間水準へ—公民館は4倍に

とにかく、「民間企業の原理・原則」を発想のベースとして、維持管理のすべてのコストを必要経費として計算しています。

たとえば、A公民館B

会議室を例にとり、1時間あたりの管理運営費（現在250円）は約3600円。受益者負担率50%とすると1800円となり、これが本来利用者が負担するべきものとしていきます。現在250

0円で負担率は7%。見直し初年度の来年度は「経過措置」を設け、年を追って段階的に引き上げていく方法を提案するとして、250円×4倍＝1000円と「答申」しています。

◇◇ これを受けて、3年ごとの見直しとして、来年度には値上げしてくる可能性は充分にあります。

◇◇ 市議団の取り組んでいる市政アンケートには「値上げしたら、サークル活動ができなくなる。絶対反対です」「老人の楽しみは公民館での活動です」「庶民の憩いの場の値上げは、庶民の憩いの場を取り上げることで「みんなが使いづらくなる」など値上げ反対の声がたくさんあります。女性団体は早速、市長に「値上げ中止を求める」要望書を提出しました。

市川市は来年度以降100億円の財源不足だと試算していますが、一方では大型のプロジェクトも。武蔵野線新駅設置で100億円、市庁舎建設に200億円。皆さんはどう思われますか。

《主な活動報告 8～9月》

☆8月3～5日 第55回自治体学校in新潟

全国から1千人以上が参加。歓迎行事は、合併を拒否した関川村から。「えちごせきかわ太鼓」がお出迎え。平田村長もあいさつ。村民と一緒に村づくりをめざしている、大きな拍手が送られました。



2日目は分科会「孤立を防ぐ地域コミュニティ」で学習。3日目は全体会。来年は仙台市。

☆8月5日 中国分自治会の夏まつり

毎年開かれている夏まつり。中国分小学校の校庭にはやぐらが組まれて、婦人会の皆さんの盆踊り。地元の皆さんの交流の場があることはすばらしいことです。子どもたちも楽しそうでした。

☆8月30日 社保協の対市交渉

市内の民主団体が構成する社会保障推進協議会の対市交渉が行われました。事前に要望項目に回答をいただき、市の担当者との直接交渉ということになっています。これは毎年ひらいています。しかし、交渉に参加する課が少ないため、聞けないものもありました。



☆8月31日 革新懇市川8月集会

今回のテーマは「TPPで日本はどう変わるのか」と題して、日本共産党国民運動委員会の橋本正一さんが講演しました。「TPPは百害あって一利なし」、農業、医療、貿易、労働など様々な分野に影響するということです。一点共闘の課題です。

☆9月6日 明乳とJAL争議団を励ますつどい

明乳争議団のたたかいは29年。先日の不当な都労委命令に「負けてはいられない」と引き続きたたかいを続けます。JAL争議団も高裁でのたたかい。その他にも、昭和ゴム、オリエンタルモーター、旭中央病院、日本IBMなどでたたかっている方も決意を述べ、支援を訴えました。すべてブラック企業です。



☆9月7日 渡辺政之輔没後85年プレ企画

10月6日渡辺政之輔没後85年墓前祭のプレ企画で「亀戸界限」の散策を行い、24人が参加しました。戦前の党中央委員長であった渡辺政之輔が市川町から亀戸に引っ越し、工場で働き南葛労働会を組織。労働運動、共産党の指導者になっていきます。そして関東大震災のときに、朝鮮人や中国人と混じって、若き労働者が虐殺された亀戸事件の地でもあります。